





社会実験の結果【利用状況】

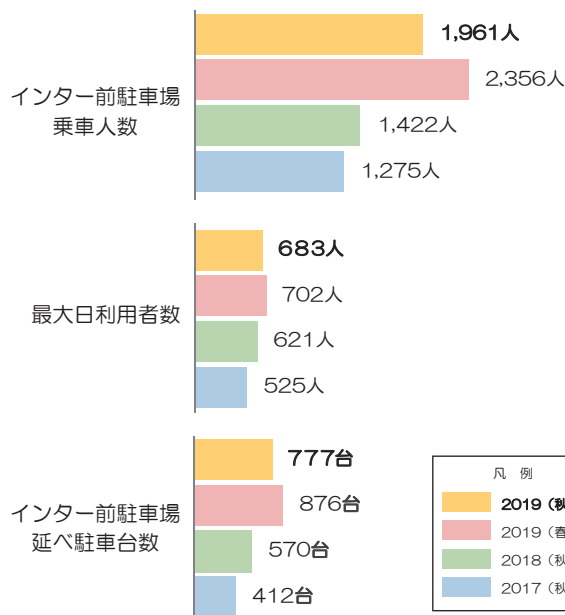
■利用者数・駐車台数

2019年秋の社会実験利用者数は、前回の2019年春に比べ少なくなっているものの、過去2回の秋の社会実験と比較すると4割近く増加しています。

また、これまでと同様、利用者はイベント時に多く、イベントのない日は、少なくなっています。

	2017 (秋)	2018 (秋)	2019 (春)	2019 (秋)
インター前駐車場 乗車人数	1,275人	1,422人	2,356人	1,961人
最大日利用者数	525人	621人	702人	683人
インター前駐車場 延べ駐車台数	412台※	570台	876台	777台

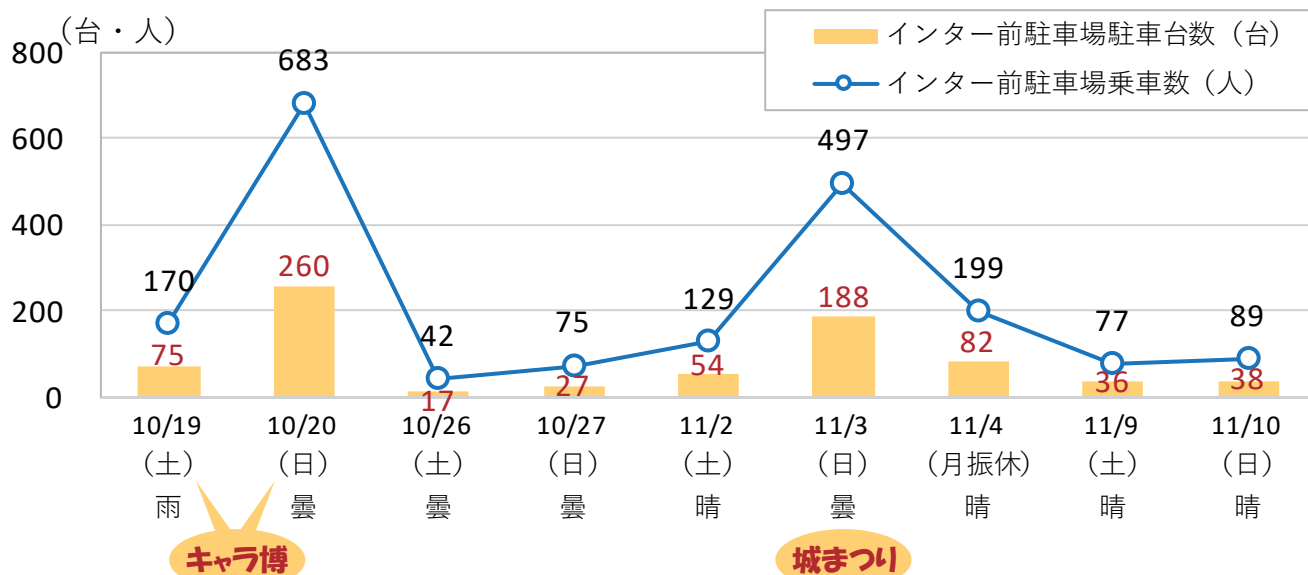
※2017年は延べ駐車台数を計測していないため、1日当りの最大駐車台数の合計値を記載しています。



インター前駐車場の様子



期間中の利用者数・駐車台数





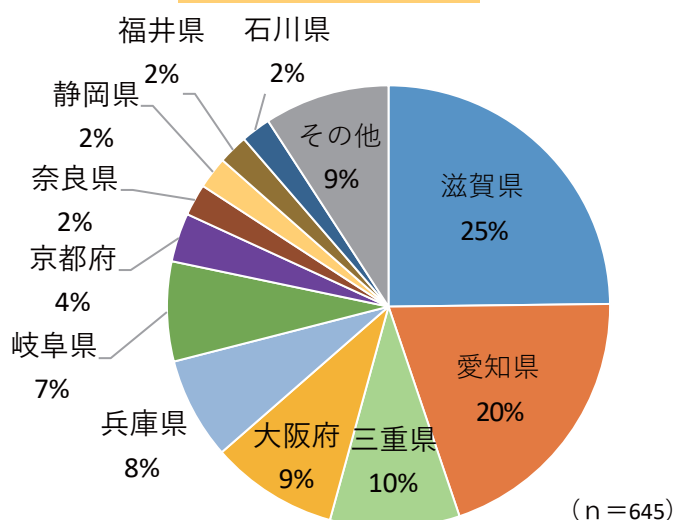
社会実験の結果【利用状況】

■パーク・アンド・バスライド利用者アンケート

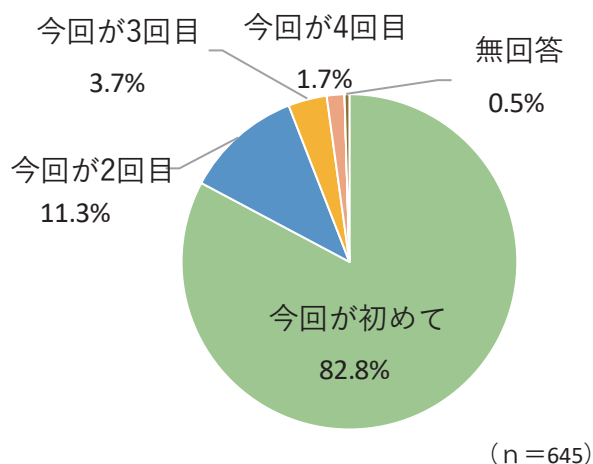
パーク・アンド・バスライドの利用が2回目、3回目、4回目を含めた割合は16.7%で、リピート利用が増加しています。

また、利用した方のほとんどが「満足」、「次回も利用してみたいと思う」と回答をいただきました。

来訪者の出発地

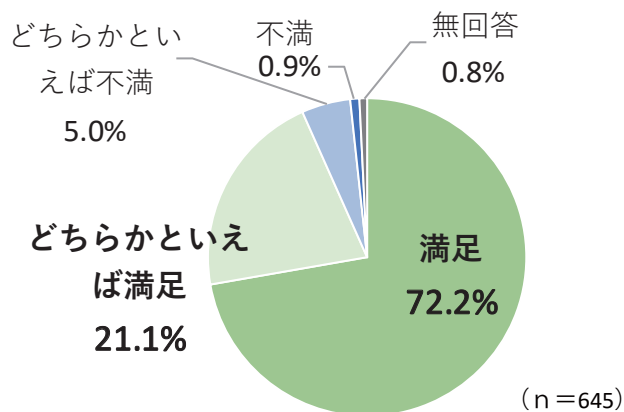


利用回数

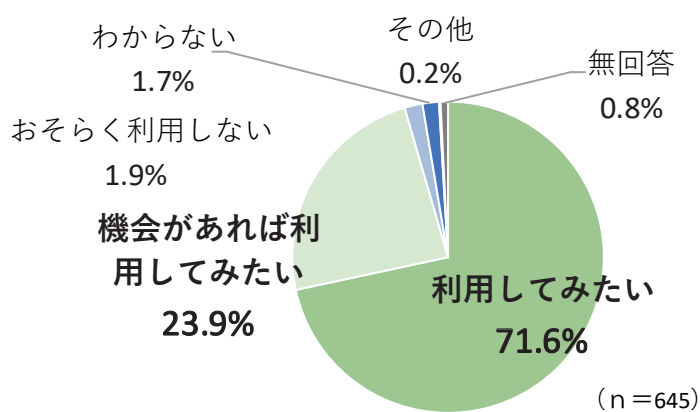


利用者の感想

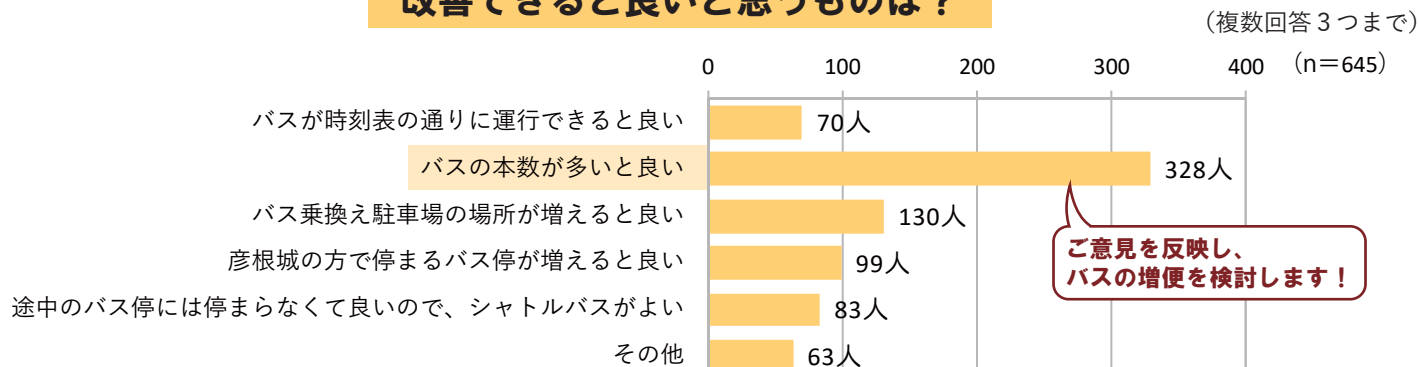
「利用した感想」をお答えください。



このパーク・アンド・バスライドを
次回も利用してみたいと思いますか？



改善できると良いと思うものは？



(n：回答サンプル数)





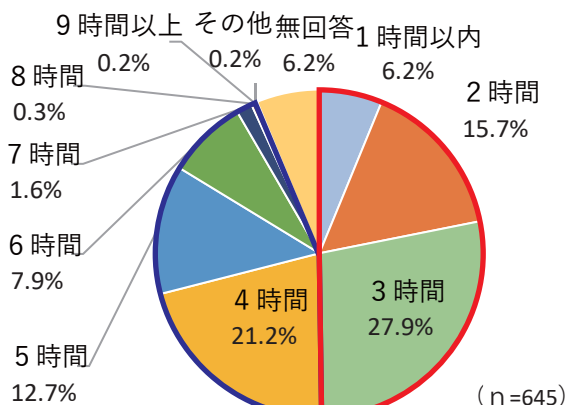
社会実験の結果【観光面】

■パーク・アンド・バスライド利用者、一般駐車場利用者アンケート

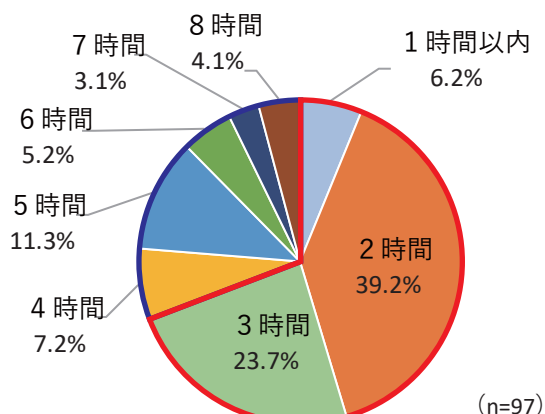
パーク・アンド・バスライド利用者のほうが、一般駐車場利用者より駐車時間が長くなっています。このことからパーク・アンド・バスライドを利用すると、滞在時間がより長くなる可能性があると考えられます。
また、四番町スクエアや玄宮園を訪問する割合が高く、回遊性が向上していることがわかります。

駐車時間

パーク・アンド・バスライド利用者
(駐車した時間)

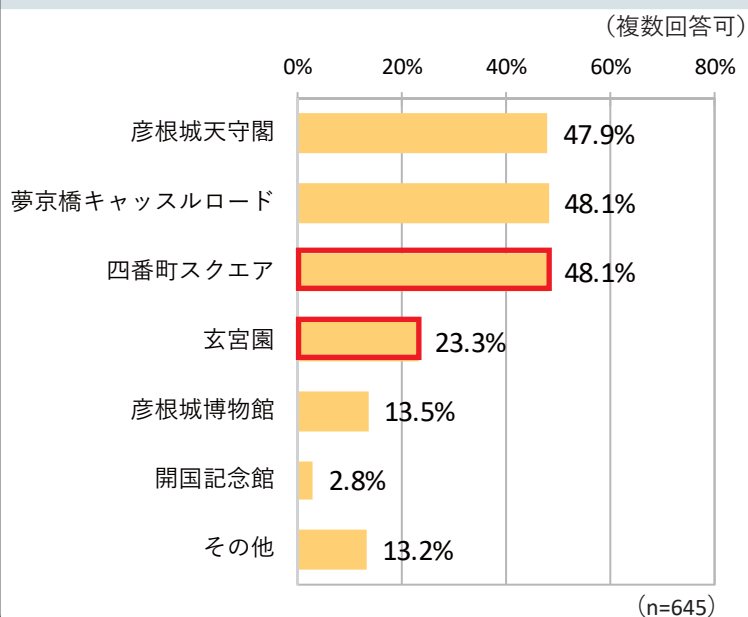


一般駐車場利用者
(駐車する予定時間)

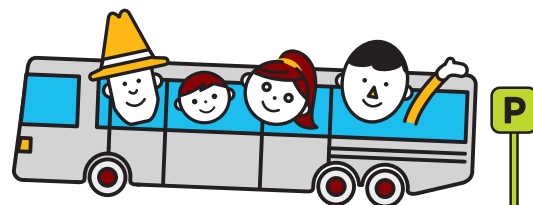
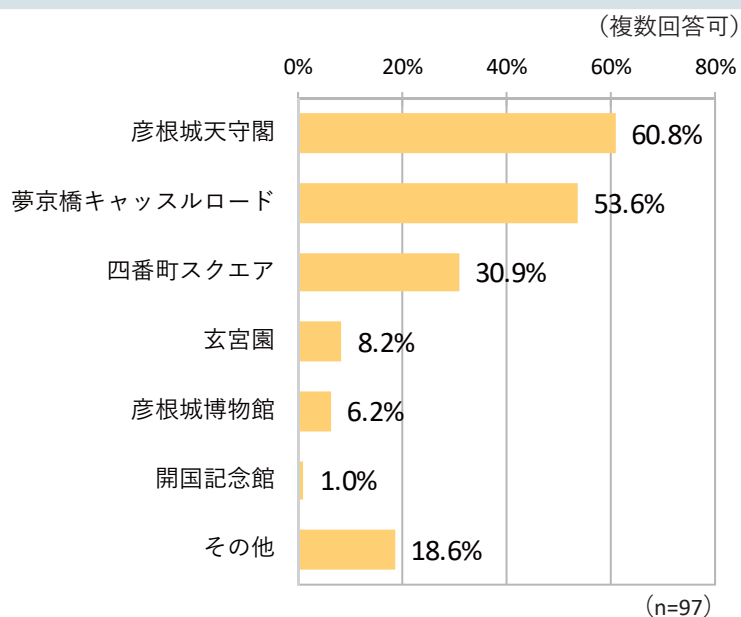


訪問観光施設

パーク・アンド・バスライド利用者
(訪問した観光施設)



一般駐車場利用者
(訪問する予定の観光施設)





社会実験の結果【利用料金について】

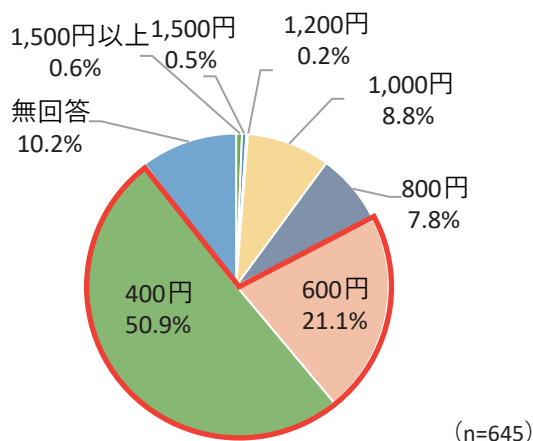
■パーク・アンド・バスライド利用者、一般駐車場利用者アンケート

城内駐車場が1,000円になったことを示したうえで、パーク・アンド・バスライドの利用料金について、いくらであれば利用するか質問しました。

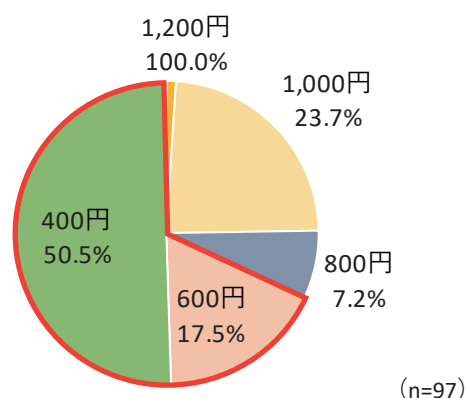
その結果、400円と600円を合わせた回答が、大半を占めています。

利用料金は、いくらであれば利用しますか？

パーク・アンド・バスライド利用者



一般駐車場利用者



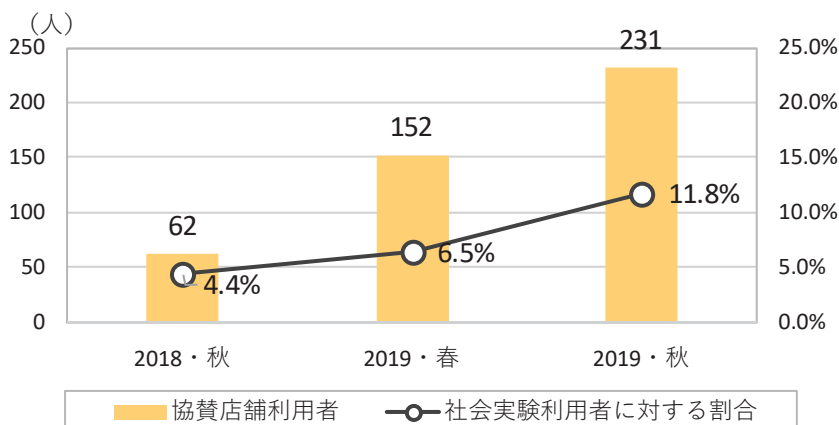
社会実験の結果【近隣商店街・協賛店舗】

■協賛店舗の利用状況

2018年秋の社会実験より始めた協賛店舗の実施は、社会実験の利用者が、インター前駐車場で配布される缶バッジを提示することにより、特典を受けられるというものです。

協賛店舗を初めて3回目の今回は、13店舗で実施されましたが、協賛店舗利用者数の社会実験利用者数に占める割合が11.8%と大きく増加しています。協賛店舗の浸透が徐々に進んでおり、観光の活性化につながっていくことが考えられます。

協賛店舗の利用状況



缶バッジ



ひこにゃん缶バッジで協賛店舗を利用できます！



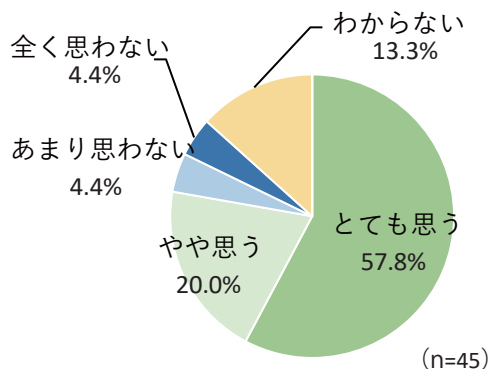


社会実験の結果【近隣商店街・協賛店舗】

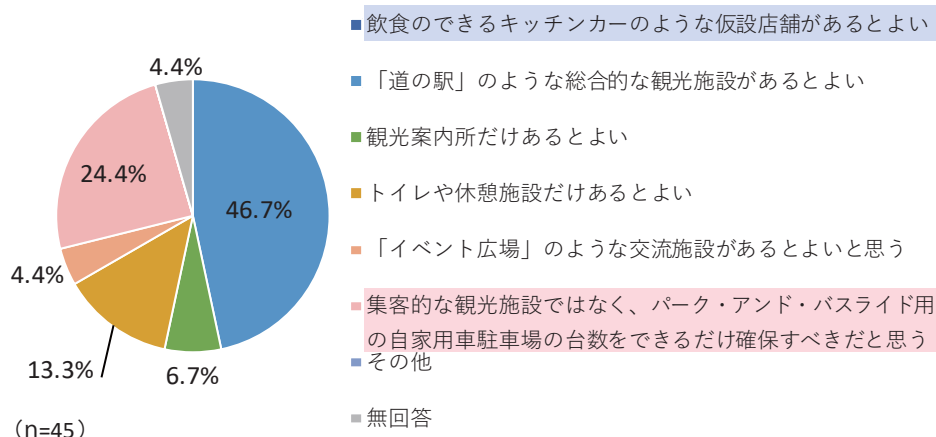
■近隣商店街事業者の印象【近隣商店街事業者アンケート】

近隣商店街事業者の8割程度の方が「当パーク・アンド・バスライドが定着すると良い」と回答しています。

Q. 将来、このような「パーク・アンド・バスライド」が定着すると思いますか。



Q. 彦根インター前駐車場に将来的に導入がふさわしいと思われる施設、機能をあげてください。



社会実験の課題

これまでの4回にわたる実験で、次のような課題が抽出されました。

- ◆秋の実験の中では、利用者が最も多い結果となったが、これまで同様、イベント等がない休日の利用者は少ない状況がみらる。
- ◆これまで無料で実施している当社会実験について、本格実施に向けた有料化を検討し、事業の具体化を考察する必要がある。
- ◆観光促進に係る施策として、協賛店舗の充実等を図っていく必要がある。

このような課題の改善をできるところから進め、今後も社会実験を行っていく予定です。みなさまのご理解・ご協力を今後ともお願いします。



次回、ぜひ
ご利用ください！



【実施機関】彦根市

- 【協議機関】 彦根市パーク・アンド・バスライド実施協議会
- 【協議会構成】 学識（立命館大学・滋賀県立大学）／国土交通省（滋賀国道事務所・滋賀運輸支局）／滋賀県（湖東土木事務所）／彦根警察署／彦根商工会議所／彦根観光協会／NEXCO中日本／湖国バス(株)／彦根市
- 【事務局】 彦根市役所 都市建設部都市計画課
- 【事務局支援】 玉野総合コンサルタント
- 【協力】 彦根ボランティアガイド協会

<2020年（令和2年）作成>

